

# 平成24年度予算総額9335億6,600万円可決

## 3月定例会の概要

初日（2月29日）の本会議では、市長から、「長引く経済不況の中で、市民税をはじめとした市税収入への影響が続いている一方、歳出面においては、福祉や医療に係る経費の増大が避けられず、厳しい財政運営を迫られている。

こうした中、行財政改革を強力に推進し、効率的で健全な行財政運営を図りつつ、総合振興計画の目指す本市の将来都市像である『環境共生都市熊谷』の実現に向けて、一つ一つの施策を着実に進めていきたいと考えている。さらに、私の目指す『市民から信頼される行政』『市民が誇りをもてるまち』『市民の笑顔がふれるまち熊谷』の実現に向け、全力で市政運営に取り組みたいと考えている。

新年度予算の編成は、経済不況の影響はあるものの税制改正の影響などにより市税を

平成23年度より約3億7,000万円の増と見込んだところである。しかし、地方特例交付金と国庫支出金で約5億1,000万円の減となるなど、厳しい財政運営を余儀なくされる中、限られた財源を最大限に有効活用し、市民のくらしを守るため、真に必要な施策を重点的に取り組むこととした。

予算編成にあたっては、総合振興計画を基本として、これまで重点的に取り組んできた『子育て応援』『経済対策』『安心安全対策』『環境対策』をさらに拡充するとともに、マニフェストに掲げた『信頼誇り、笑顔』の3つの目標を旨とし、6つの政策分野における施策を実現するため、予算を重点的に配分した。

一般会計は、総額575億円対前年度比2・04%、額にして12億円の減となる。特別会計は、7会計を合計して289億2,000万円、対前年度比2・48%、7億円の

増となる。これは主に、国民健康保険特別会計で保険給付費などの増加によるものである。

水道事業会計は71億4,600万円で、前年度に比較し、1・50%、1億861万2千円の減となる。これら全ての会計の総計は、9335億6,600万円で、対前年度比で0・65%、6億861万2千円の減となったものである。

続いて、総合振興計画の施策の大綱にしたがい、主な施策について申し上げる。

『魅力ある郷土をほこれるまち』として、ラグビーワールドカップ招致活動を、引き続き積極的に展開していく。

『市民と行政が協働するまち』では、『涼しさ体感事業』をはじめ、市民活動団体と市が共通の課題解決に向けて、お互いの提案に基づき、協働して取り組んでいく。

『みんなで創る安全なまち』として、『安全なまち推進事業』では、新たにLED防

犯灯の設置に対する補助を追加する。

『だれもが安心して健康に暮らせるまち』では、暑さから市民を守るとともに暑さを活用した地域活性化と情報発信を図るため、『暑さ対策』事業を引き続き展開する。

『自然の豊かさがあふれるまち』として、『あつぱれ・冷ませ・低公害軽自動車導入奨励事業』では、低公害軽自動車を購入し、軽自動車税を納めていただいた方に納税額と同額の補助金を交付することとした。

『活力ある産業が育つまち』として、『環境保全型農業支援対策事業』では、エコファーマーの認定を受け、化学肥料・化学合成農薬の低減と地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組み農業者等を支援していく。

『便利で快適な人にやさしいまち』として、『熊谷スマートタウン整備事業』では、



小学校に設置されているエアコン

全国屈指の快晴率を誇る本市において、先導的に環境共生型のまちづくりに取り組み、スマートタウンの整備を推進していく。

『地域に根ざした教育・文化のまち』として、『第67期本因坊熊谷対局実施事業』では、囲碁の本因坊戦が5月28、29日の両日にわたり、聖天山歓喜院において開催される運びとなり、開催市としてこれに補助をする。

『効率的でわかりやすい行財政』では、効率的な施設の管理運営と利用者のサービス向上を図るため、指定管理者制度の導入について、新たに体育施設5施設、文化施設2施設に導入する。

平成23年度補正予算案では、平成24年度に予定をしていた三尻小学校、籠原小学校、熊

谷南小学校の『屋内運動場建築事業』を前倒しして実施するための経費を追加するほか、『中学校エアコン整備事業』では、全ての中学校の普通教室にエアコンを設置する経費を計上する。この結果、中学校のエアコン整備は夏休み期間中に実施ができ、9月には利用開始の見込みとなった。

このほか、一般議案として、地方税法等の一部改正に伴う『熊谷市税条例の一部を改正する条例』をはじめ、『熊谷市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例』などを提案している。旨が述べられました。

5日の本会議では、条例案や予算案に対する質疑が行われました。そして各議案は、所管の常任委員会に付託されました。

6日には、総務文教常任委員会及び福祉環境常任委員会において、また、7日には、市民産業常任委員会及び都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。

12日、13日、14日の3日間は、22人の議員による市政に関する一般質問が行われました。最終日（19日）の本会議で

可決された主な議案

- は、各常任委員長から案件審査の経過及び結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。また、議員提出議案について原案どおり可決、さらに、人事案件についても同意し、3月定例会は閉会しました。
- ◇平成24年度熊谷市一般会計予算（多数）  
歳入歳出予算の総額をそれぞれ575億円とするものです。
- ◇平成23年度熊谷市一般会計補正予算（第5号）  
〔全会一致〕  
耐震診断でIS値が低い議会棟一階部分の緊急補強工事を実施する経費を計上するためのものです。
- ◇熊谷市税条例の一部を改正する条例（全会一致）  
東日本大震災に係る雑損控除額等の特例の適用期間を延長するとともに、退職手当に係る所得割の特例の廃止等を行うためのものです。



東京電力(株)熊谷副支社長に要望書を提出する磯崎議長(中央)と山田副議長(左)

平成24年3月21日（水）東京電力(株)熊谷副支社長が熊谷市議会に来庁し、議長から東京電力株式会社 西澤俊夫社長あての「電気料金値上げに対する要望書」が手渡されました。

東京電力(株)へ  
要望書の提出

◇熊谷市監査委員の選任について（同意）  
桜井 則彦氏

請願の審査結果

◇国に対し、「公的年金切り下げ等に反対し、拡充する意見書」の提出を求める請願（審査結果・不採択）

会議では市内の16の中学校から選出された32名のジュニア議員から、危機管理や学校の暑さ対策などについて、子どもたちの視点から幅広い質問がなされ、市長をはじめ、副市長、担当部長が答弁を行いました。また、今月初めて、ジュニア議員から「歩行者や自転車にやさしい、交通事故が少ない安全なまちをつくる決議」の議案が提出され、可決されました。



ジュニア議会の様子

1月29日（日）に市議会本会議場において、「夢・未来熊谷ジュニア議会」が開催されました。

第6回夢・未来  
熊谷ジュニア議会開催